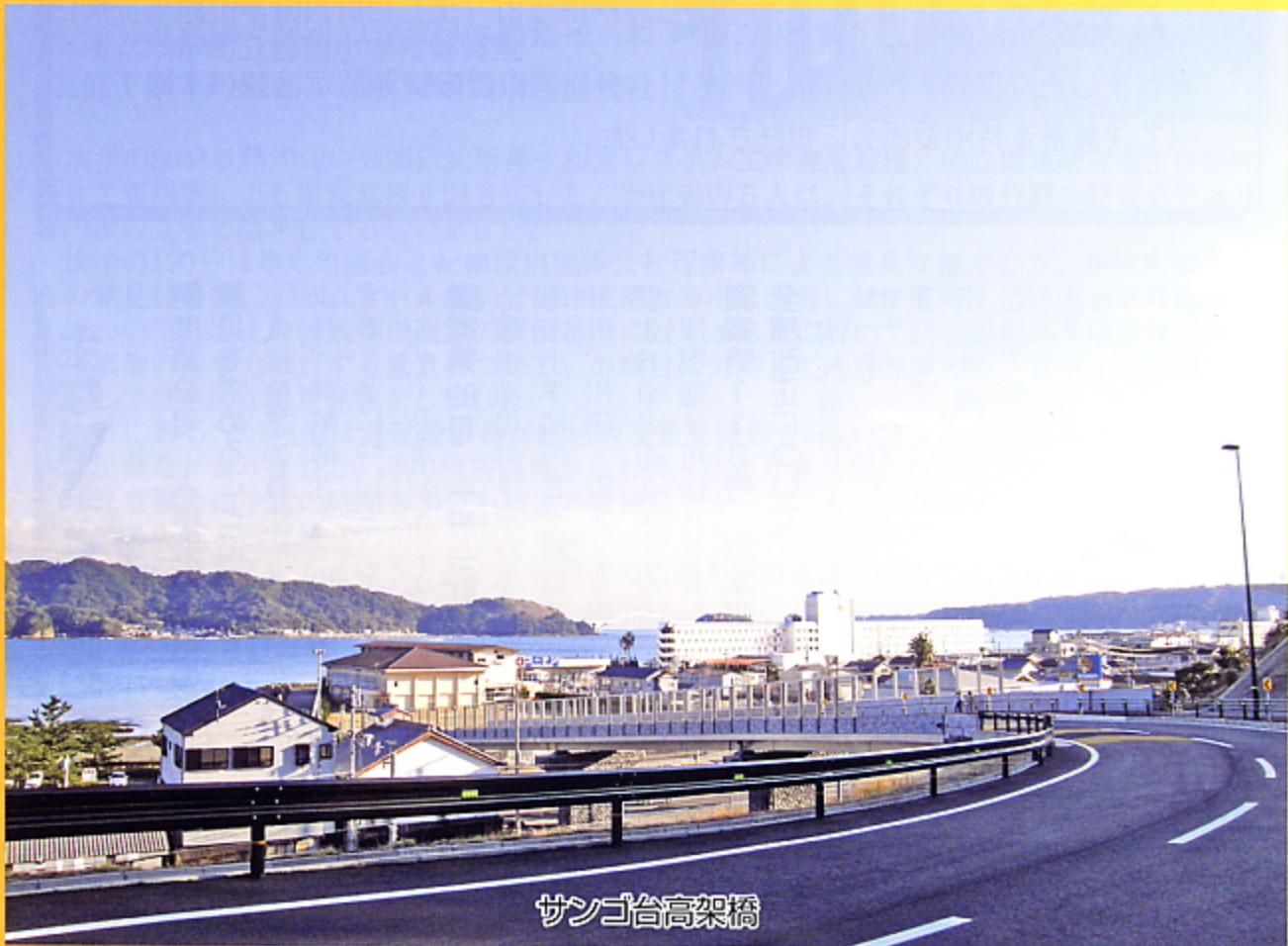


くしもと

第6号 2008年3月

議会だより



サンゴ台高架橋

誌面紹介

◆ 9月議会～12月議会の概要	P 2 ~ 3
◆ 18年度決算委員会報告	P 4
◆ 一般質問	P 5 ~ 11上
◆ 常任委員会視察報告	P12 ~ 14
◆ 紀南環境整備公社との意見交換会	P15上
◆ 特別委員会報告	P15下
◆ 議会の動き・編集後記	P16

12月議会

概要

平成19年第4回定例会は12月11日から21日までの11日間の会期で開催されました。

提案された案件は、当局から条例案件12件、補正予算案件6件、その他の案件5件、議会から3件があり、新しい字「サンゴ台」の新設や、小学校統廃合に伴う条例の改正、9月の第3回定例会で決算審査特別委員会に付託された平成18年度の一般会計、各特別会計の決算認定など、すべて原案通り可決または認定されました。

提案された案件は、当局から条例案件12件、補正予算案件6件、その他の案件5件、議会から3件があり、新しい字「サンゴ台」の新設や、小学校統廃合に伴う条例の改正、9月の第3回定例会で決算審査特別委員会に付託された平成18年度の一般会計、各特別会計の決算認定など、すべて原案通り可決または認定されました。

議案第1-120号 串本町小・中学校設置条例の一部改正

議案通り可決されました。

議案第1-18号 古座川病院で起きた投薬ミスによる医療事故に関する損害賠償

原案通り可決されました。



議案第1-15号 字「サンゴ台」の新設について

これまで字が「くじの川」であつたサンゴ台地区は、住宅地の整備などにより「くじの川」と呼ぶ現状に合わなくなつてきており、新しい字「サンゴ台」を新設し、従来の「くじの川」から分離するという案は原案通り可決されました。

議案第1-18号 国民宿舎「あらふね」の指定管理者の指定について

平成20年4月から国民宿舎「あらふね」は、株式会社アセット・オペレーターが管理することになりました。

議案第1-19号 平成16年10月に国保事故に関する損害賠償

原案通り可決されました。

議案第1-20号 串本町小・中学校設置条例の一部改正

和深・田並・有田小学校が統合され、有田小学校の校舎を利用して新しく「串本西小学校」を設立することが決まりました。

議案第21号 病院対策特別委員会の設置に関する決議について

議長を除く全議員参加の特別委員会

議員長:水口 委員長:水口

議案第22号 道路特定財源諸税の暫定税率延長による道路財源の確保を求める意見書(案)の提出について

議員発議の3つの案件はいずれも提案

主な議案と審議の結果

議案第1-15号 字「サンゴ台」の新設について

これまで字が「くじの川」であつたサンゴ台地区は、住宅地の整備などにより「くじの川」と呼ぶ現状に合わなくなつてきており、新しい字「サンゴ台」を新設し、従来の「くじの川」から分離するという案は原案通り可決されました。

議案第1-18号 国民宿舎「あらふね」の指定管理者の指定について

平成20年4月から国民宿舎「あらふね」は、株式会社アセット・オペレーターが管理することになりました。

議案第1-19号 平成16年10月に国保事故に関する損害賠償

原案通り可決されました。

議案第1-132号 一般会計補正予算衛生施設事務組合分担金869万9千円、和深・田並・有田小学校統合事業費2617万6千円、舟波漁港災害復旧事業費8401万円などについて審議。

議案第93-1-11-1号 平成18年度決算の認定について

9月議会で決算審査特別委員会に付託されていた平成18年度の一般会計、各特別会計の決算について、委員会の報告を受けすべて認定されました。

議案第20号 住宅資金貸付事業特別委員会の設置に関する決議について

議長を除く全議員参加の特別委員会

議員長:谷口 副委員長:藤田

9月議会

概要

平成19年第3回定例会は9月18日から28日までの11日間の会期で開催されました。

提案された案件は、当局から人事案件1件、条例案件4件、補正予算案件4件、決算認定案件19件、その他の案件1件、議会から3件があり、一般会計、特別会計の補正予算案については、各議員から厳しい指摘や提言がなされました。平成18年度の一般会計、各特別会計の決算認定についてはすべて決算審査特別委員会に付託されました。

諮詢第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員法第6条第3号の規定により、神崎博さん、川名昭弘さんを推薦することについて、全会一致で異議のない旨の答申を行いました。

議案第89号 一般会計補正予算

磯根漁場再生業務委託料300万円、串本小学校第2次耐震診断委託料260万円、和深・田並・有田小学校統合事業費1698万4千円などについて審議。

議案第1-13号 串本町国民宿舎条例の全部改正について

国民宿舎「あらふね」は、これまで町が運営していたものを、指定管理者に運営を委託することになりました。これに伴う条例改正について、原案通り可決されました。



後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書

2008年4月から実施される後期高齢者医療制度は、公費が医療費の半分しかあてられず、高齢化の進行とともに保険料が際限なく引き上げられる仕組みになっています。

く中略

このように後期高齢者医療制度は現状のままで、高齢者に堪えられない高負担を押し付け、医療から高齢者を排除するものにしかねません。よって政府におかれでは、安心して医療にかかる制度に見直しをはかるよう望す

るものです。

記

1. 新たな後期高齢者医療制度は、中止・撤回すること。
2. 70歳~74歳の窓口負担の2割への引き上げをやめること。
3. 医療に使う国の予算を増やして、高齢者・国民が安心して医療を受けられるようにすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成19年9月28日
和歌山県串本町議会
【提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣

委員長:谷口 副委員長:古久保 横谷、角、川勝

発議第18号 後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める意見書(案)の提出について

(提出先:和歌山県後期高齢者医療制度広域連合会長)

発議第19号 後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書(案)の提出について

(提出先:内閣総理大臣、厚生労働大臣)

主な議案と審議の結果

発議第17号 決算審査特別委員会の設置について

委員長:谷口 副委員長:古久保 横谷、角、川勝

いっぱい質問

- 1. 串本町財政について**
- 今後、数年間でいくつも予定されている多額な事業に町財政は耐えられるのか？町長の財政に対する考え方、見通しを質す。
- (1) 実質公債比率等自治体財政健全化法に示された財政指標の将来動向。
- (2) ふるさと納税制度について。
- (3) 入札制度について。
- (4) 事業仕分け導入の考えは？
- (5) バランスシートを連絡ベースで作成を。
- 2. その他**
- (1) 町内の排水溝の整備状況と合併浄化槽設置整備

9月議会



結城 力



12月議会

- 1. 先進自治体を見習おう**（総務常任委員会の行政視察を有意義にするために）
- (1) 行財政改革特別委員会改革について。特に、機構改革について。
- (2) 公共交通について。
- (3) ふるさと納税について。

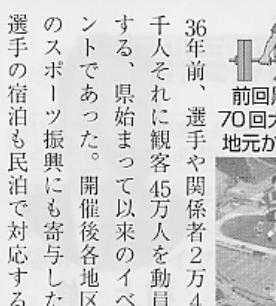
町おこしへの先行投資



水口 崇

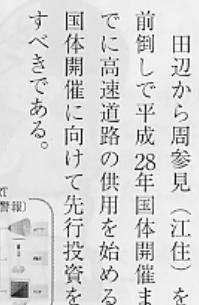


- 前回黒潮国体はウエイト70kgで地元からの有名選手の輩出
- (1) 防災対策について。特に水門・ひ門の整備について。
- (2) 行財政改革特別委員会改革について。特に、機構改革について。
- (3) ふるさと納税について。



2015年に我が県で行われる第70回国民体育大会を起爆剤にする。後につながる競技（少年サッカー）を誘致しこれを中心と申本の再興を計るべきである。

地震津波対策



- 田辺から周参見（江住）を前倒して平成28年国体開催までに高速道路の供用を始める。国体開催に向けて先行投資をすべきである。

旧串本、津波到達8分、避難可能距離90m。田並、津波到達7分、避難可能距離60m。避難所を兼ねた新串本町漁協荷さばき場の建設。施設を利用した避難所作り。避難デッキの設置（国のパイロット事業として）・J-ALERT（全国瞬時警報）での津波警報・緊急地震速報の整備。

決算委員会報告

○審査期間 平成19年10月23日～30日
(内5日間委員会開催)

- 審査委員 9名**
平成18年度串本町一般会計歳入歳出決算
他18会計決算



【審査の概要】

一般会計は款ごとに、特別会計は会計ごとに担当課長等から説明を受け、委員から厳しい意見の指摘や資料請求、また今後における要望も行った。29日には、質疑の中で特に問題のある事項について、約1時間にわたり松原町長との意見交換を行い、委員会の意見を来年度の当初予算に活かすよう要望しました。

【町長との意見交換】

(紙面の関係で町長のコメントのみ掲載)

①魚のブランド化について
町長：平成17年11月に経済観光課から観光課、水産課、商工農林課を独立させる中で、水産課は

地場産業である水産に力を入れていきたいと設置した。

制度を廃止する方向で検討していただきたい。

- 審査対象**
平成18年度串本町一般会計歳入歳出決算

他18会計決算

ブランド化については、東京海洋大学山中名誉教授等の指導をいただき、養殖マダイ、天然カツオ、養殖クロマグロの取り組みをしているが、時間的な経過も必要で1年半くらいの取組みであり、もう少し時間をいただきたい。

②串本町漁協経営安定化支援助成について

町長：合併前の旧両町の取り扱いに違いがあることにおいては事情が異なると受け止めていたと聞いている。今後、旧串本町も旧古座町並みにすることについては事情が異なると受け止めている。実施要綱、助成金交付要綱に基づいて行っているのが筋と考える。

③隣保館職員の配置について

町長：平成15年2月に前地総合センター（隣保館）の方向として、当分の間町職員1名と臨時職員で対応するという方向付けがされてから5年目。

今年度から職員引き揚げ等を検討する時期と双方が認識にたつてはいるが、20年度は今の体制でと考えており、引き続き地元区と話一合つて行きたい。

④専門員の雇用について

町長：平成18年度の発令は、町長、副町長で協議し、給与面での役職と職員の士気を高めることで行った。今後専門員については眞の意味で必要な部分を残していくか、制度自体を廢止するかという方向

⑤火葬場の新設について

町長：合併により2つの火葬場を運営していますが、川町とも老朽化が著しく、進入路、駐車場も狭く皆様に迷惑をかけている。以前は3町衛生施設事務組合で取り組むことになっていた関係もあり、古座川町とも協議する必要があるが、現在のところ古座川町の状況を見守っている現状である。

⑥最終処分場建設について

町長：10月26日の紀南環境整備公社理事会・評議員会の結論として、公社が進めようとしている同時調査は今までは崩れるのではないか、再度各自治体、商工会議所の代表がそれぞれ持ち帰り、皆さんの意見を集約した上で12月上旬あたりを目標に方向を決めてはどうか、各理事の意見もどちらにせよ早く結論を出す必要があるのではないかとのことであった。

⑦大型共同作業所について

町長：工場を開じる所が出てきている。商工農林課とも協議はしているが、今の厳しい社会情勢の中で町と

して何ができるのかと、関係者ともう少し話を詰めていく必要があると考えている。



平成18年度の会計決算は、特別委員会を設置して審査を行い、12月本議会で決算委員会委員長から全会計認定との報告がなされましたが、本会議において住宅資金貸付事業特別会計が採決により認定、その他は全員一致で認定されました。

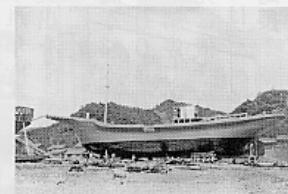
いっぱい質問

☆ 非核、平和の町宣言のアピールを！
「問」議会の宣言議決を踏まえどう行政に生かすのか。外にアピールすべきではないか。
（答）我が町はビキニで被爆した第5福竜丸建造の地でもあり、その歴史を風化させることなく、合併後も核廃絶、世界平和を発信してゆく町でありたい。古座地区に建造の地をアピールする看板の設置を検討する。

☆ エルトウールル号 遺品引き揚げ事業について

☆ 上水道の浄水場移転事業について
☆ 後期高齢者医療制度について
☆ 橋杭小学校育友会からの早期給食実施要望書について
☆ 全国学力調査の結果について

12月定例議会



9・12月議会 一般質問



濱田 勝裕

ま...
ません。
濱田：海上保安庁と愛舟会で取り組んでいる海岸清掃を他のボランティアを集めて月に一度くらい出来ないか？
観光課長：関係課と協議して検討してみたい。



濱田：病院は大事業なので町長が率先垂範すべきですが如何ですか？
町長：率先垂範は議員のご指摘の通りです。
濱田：事務の合理化・機構改革を具体的にどうするのか？
町長：今のところは具体策を示せる段階には至っていません。
濱田：マグロの養殖は現時点でこれ以上進まないようですが、どうなっているのか？
町長：地元からは非きてくださいと言うような盛り上がり欠けるので、一旦引き揚げる事になりました。
濱田：紀南環境整備公社から離脱しても良いとお考えか？
町長：そのようには考えていました。

濱田：東牟婁地方駅伝大会への我が町からの参加校数と校名を聞かせて下さい。
教育長：町内6校中2校で、西向・大島中学校です。
濱田：充分な取り組みだとお考えか？
町長：マイナスのイメージを持ちます。

9月定例議会



藤田 勝彦

〔答〕トルコ海軍や文部省の取り組みについて外務省等と今後十分調査をしてどのように関わって行くか検討する。他に後期高齢者医療制度や上水道の水源問題について質問。

いっぱい質問



仲江 孝丸

九月議会では

- ①限界集落とコミュニティの維持について
 - ②学校と地域の関わりについて
 - ③海岸侵食の実態と対策について
 - ④各区からの工事要望と対応方について
- 以上四項目。

十二月議会では

- ①住宅貸し付け事業の実態と改善について
 - ②文化による町おこしについて
 - ③串本病院産婦人科医師の勤務実態と改善について
- 以上三項目を質問。

限界集落については、町として実態を把握できて



いないと答弁に対し、現状をきちんと認識していると指摘。また、各区内の工事要望への対応や進捗状況は毎年各区に報告すべきと質問。町長は今後きちんと各区に対する報告を行うと答えました。



1. 喫煙場所の設置について

(1) 受診率。

(2) 年齢別。

(3) 男女別。

(4) 受診率を高めるには。

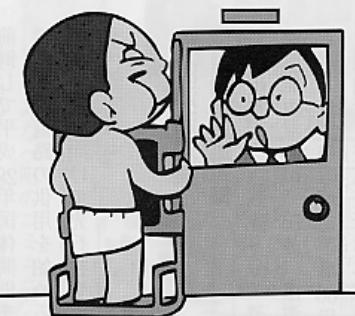
(1) 古座分室での喫煙は、一度も償還指導出来ていなかった世帯数が七十四軒もあります。
（2）古座分室での喫煙は、一度も償還指導出来ていなかったが、滞納者で昨年一度も償還指導出来ていなかった世帯数が七十四軒もあります。
（3）府内来客の喫煙場所は。

（4）両病院の喫煙場所は、（5）町長の喫煙に対する考え方。



村上 修

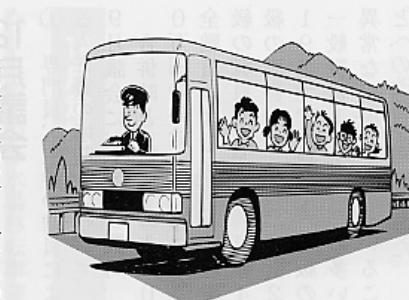
12月議会



いっぽん質問

12月議会

一、スクールバス配置校と未配置校との格差是正について
県下で初の修学旅行の民泊事業について、今後の取り組みについて



寺町 忠

9月議会

一、少子化と人口減少について
出産祝い金について提言しました。町長から担当課とも協議の上前向きに取り組むとの答弁をいただきました。

二、学校統合と空き校舎の利活用について
空き校舎については、計画通り統合が進めば16校になるとのことでした。

三、観光立町串本町の現状について
県下で初の修学旅行の民泊事業について、今後の取り組みについて

一、スクールバス配置校と未配置校との格差是正について
新規開設校にスクールバスが配

二、学校給食の取り組みについて
学校給食検討委員会の報告から1年を経過する中、教育委員会の考え方、又橋杭小への試行を行なう計画等を質問しました。

椿谷 勲

9月議会

1. 防災対策について
 - (1) 非常食、毛布、水等の管理
 - (2) 連絡等の確認
 - (3) 今後のタワー建設計画
2. 少子化、高齢化について
 - (1) 当局の今後の対策
 - (2) 国からの補助金、町の祝金の廃止
 - (3) 65歳以上の方の保険料の増加
 - (4) 新串本病院建設について
 - (1) 現時点での状況は
 - (2) 三者会談、その後の変化
 - (5) 今後の見通し
 - (6) ラムサール条約の重さ
 - (3) 全国的な産業廃棄物の処置、対応
3. 紀南最終処分場について
 - (1) 申込の有り方
 - (2) 水道(古田淨水場)の新設
 - (3) 新病院の建設
 - (4) 給食センターの新設
 - (5) その他



12月議会

1. 町民運動会について

- (1) 進行の仕方
- (2) 消防署の数
- (3) 救急車の出動回数

2. 四端サミットについて

- (1) 開催の有り方
- (2) 首長会議の内容
- (3) 救急車の出動回数

3. 串本町の財政の有り方

- (1) 高圧送電線の影響等
- (2) 新病院の建設
- (3) し尿処理場の新設
- (4) 給食センターの新設
- (5) その他

たツケがきている。人口の減る中バブル崩壊後地価が下がり続けている。土地開発公社設立の趣旨が「地価の上昇を見越し自治体に代わり公共用地を先行取得する為に設立された」もはやこの趣旨が反映されていない土地開発公社を解散すべし。

副町長：解散は負債を一般会計で抱かなければならず単年度ではそういう支出をするのは無理である。

質問：熊本県で銀行が1億6000万円の債権を民事調停で放棄した。借入先に債権放棄をお願いしては。



副町長：債権放棄を本当にできるのか今後研究したい。

12月議会

1. 國際交流のあり方について

- (1) 町はトルコ国マルシン市、ヤカケント町、韓国光州市と姉妹都市並びに友好都市を結んでいます。又オーストラリアア木曜島とも将来結ぶ関係になると思うが、今後はさあどうぞどうぞといふような交流を見直していかねばならないのではないか。

2. 潮岬の芝生の整備活用について

- (1) 12月にはグラウンドゴルフ大会にたくさんの年配の爱好者が参加し、又かなりの人が宿泊もされています。5月ぐらいに岬の芝生で全国的に爱好者を集めるような計画を。

3. 加工品、みやげ物の作り方について

- (1) 空き校舎等、不用施設はどのくらいありますか?
- (2) 町がリードして講師を呼び講習会を開いてみては?
- (3) 有田のし尿処理施設の継続は?
- (4) 道の駅の進み具合は?
- (5) 空き校舎等、不用施設について
 - (1) 申込の有り方
 - (2) 首長会議の内容
 - (3) 救急車の出動回数
 - (4) 串本病院への影響は丈夫なのか?



4. 橋杭の道の駅について

- (1) 道の駅の進み具合は?
- (2) 申込の有り方
- (3) 首長会議の内容
- (4) 救急車の出動回数
- (5) 串本病院への影響は丈夫なのか?



漆畠 繁生

いっぽん質問

質問：土地開発公社と町の関係は。

総務課長：町で行う事業用地の先行取得の為に設置している。

質問：公社は7億5700万円余り借入金がある。これは理事会が責任を持つのか。串本町が持つのか。町は債務保証をしているので、債務者と同等の責任を負うと捉えていいのか。土地は担保価値がある。今後どのような形で責任となる。実際に価値があるのか調査に入っている。

質問：長い間放置してき

12月議会

1. 國際交流のあり方について

- (1) 申込の有り方
- (2) 首長会議の内容
- (3) 救急車の出動回数
- (4) 串本病院への影響は丈夫なのか?

2. シルバー人材センターについて

- (1) シルバー人材センターに対する町の位置づけは?
- (2) 申込の有り方
- (3) 首長会議の内容
- (4) 救急車の出動回数
- (5) 串本病院への影響は丈夫なのか?



3. 加工品、みやげ物の作り方について

- (1) 空き校舎等、不用施設はどのくらいありますか?
- (2) 町がリードして講師を呼び講習会を開いてみては?
- (3) 有田のし尿処理施設の継続は?
- (4) 道の駅の進み具合は?
- (5) 空き校舎等、不用施設について
 - (1) 申込の有り方
 - (2) 首長会議の内容
 - (3) 救急車の出動回数
 - (4) 串本病院への影響は丈夫なのか?



和田 良太

いっぽん質問

主な要旨は
現在、町内に保育所と幼稚園合わせて12箇所あるが、少子化が益々進んできた串本町においては保育所・幼稚園のあり方を考える時期に来ているのではないか。
また、認定子ども園とは、保育所・幼稚園のよいところを兼ね備えた施設です。子どもの数が減少し各施設が収容定員を大きく割り込んでいる中、認定



認定子ども園設置に関する質問を行いました。

9月定例議会



梅野 光児

この質問に対する答弁では、教育委員会は認定子ども園設置より幼保二元化にウェイトを置いている印象を受けました。また町長より、認定子ども園設置について前向きに考

える旨の答弁がありました。私は、子育て世代の負担を軽減できるよう、安心して子育てができるよう、安心して働けるよう、町としてがんばついていただくことをお願いして質問を終えました。

委員長研修会

11月9日 県町村議長会主催の委員長研修会が開かれ議長・副議長と各常任委員会および特別委員会の委員長が参加しました。

講師…愛媛大学非常勤講師の若松進一氏

演題…「自然豊かな町村の環境を活かした新しいまちづくり・むらづくり」
場所…南部口イカルホテル

経歴は双海町の役場職員から教育長をなさって現在に至っています。国土交通省から観光カリスマ百選の認定を受けています。

話は最初から面白く豊かな発想で、町おこしプロジェクト{夕焼けプラットフォームコンサート}{18時間マラソンシンボジウム}{コスモス鉄道2001年の旅}等を成功させています。

田舎には仕事・活気・文化・プライバシー・遊び場・店・道路・情報・信号・嫁不足と無いもの尽くしだが、それを言つても仕方がない、そこで煙会所を作りコミュニティーを広げていったそうです。夕日のミュージアムを建てるのに75億円が掛かり、当時の町の予算が25億円で、議会で「赤字にならうどうするか?」を質問され「黒の文字で書きます」とユーモアたっぷりに答弁されたそうです。

また20年間地元にいる限り、朝5時から3時間海岸清掃をなされているようです。大変有意義な講演会でした。



いっぽん質問

① 町当局の情報開示、報告の在り方
町民に誤解のない情報提供とわかりやすい資料提供により、町施策の共通認識を町民、行政、議会が理解した上で町策を行うようにと質しました。

② 職員の件費と役職について
専門員制度は合併後廃止すると発表したが、逆に合併時より34名も多くなり、課長級の主幹外も大幅に増えて人件費が増大し、町民との約束とは反対となっている事について質す。町長に対し早急な改善を求めました。

③ 町火葬場の早期建設の実現を求める質す

④ 敬老祝金の廃止について
改善を質す

9月議会



角 将範

12月議会



① 専門員、主幹の増員による件費の増額分について
9月議会に引き続き質問
合併時と比べて約150万円の昇給となっている。全職員431名中、管理職級の職員83名、専門員等4級の職員136名と合計219名で、3級から1級の一般職員よりも幹部の多い異常な組織となっていることへの改善を求めました。

② 串本町吉座川町衛生施設事務組合の廃止の検討を提案
経費面や運営面を考慮れば、一部事務組合は不需要な組織となっていないかを質す。私は件費の削減なくして我が町の将来はないと考えています。

一、第二次合併構想と対処方
新宮広域圏を1つにする県の第二次合併推進構想は時期尚早、新病院建設マスター・プランも整つたばかりです。慎重に対処されたい。

二、橋杭道の駅「サンゴ台」構造の促進
中央線を結ぶ公園拡大創造
海中公園→稻村崎、渚の駅構造の促進
三、稻村環境管理センター設置に関する有田地区との約束と課題処理の促進
町長 私も時期尚早と判断しています。町民や議会と情報を共有し、対処していきます。



川勝 昇

9月議会一般質問

12月議会一般質問

一、地方財政健全化法と行財政改革の推進について
新法の実施内容は、地方自治体には厳しい内容です。件費の抑制、公債費の規律等、持続可能な体制整備には行財政改革が必然です。再構築を急ぐべきである。

二、一般質問事項への取組方
① 橋杭道の駅取り組み状況
② 稲村平見登記処理状況
③ 町が地上権設定の吐生山林植樹計画推進状況
④ 不燃物最終処分場に関する課題対応



厚生常任委員会視察報告

介護施設について、NPO法人による空き家を利用した地域に密着している小規模多機能型施設を見学しました。できるだけ行政費用をかけず、小さな地域において、アットホームで、地域の人によるボランティアの手助けも受けながら息の届く介護を行なうことを目的としました。

○視察内容【各委員、職員の詳細に渡る視察報告書が議長に提出されておりますが、その一部を報告します】

以上の中から、4項目について先進地の視察研修を行い、今後の我町の施策に活かすことを目的としました。

○視察問題【人口減少と過疎高齢化問題 地販完問題】

我町の現在抱えている問題で早急に取り組まなければならぬ事項地販完問題

①老人介護問題 ②人口減少と過疎高齢化問題 ③開発公社の土地区画整理事業

④新病院建設に伴う諸問題について



県外行政視察 所要経費

支出項目	金額
宿泊代（5名分）	140,000
交通費	60,935
日当（5名分）	51,000
その他	4,000
合計	255,953

厚生常任委員会県外研修概要

○研修日程：平成19年11月20日から11月22日。

○参加者：角谷委員長、仲江副委員長、橋爪委員藤田委員、漆畠委員、西水道課長、稻生保健福祉課長、松原事務局員の総勢8名。

○視察研修地

- ・滋賀県近江八幡市
- ①空き家を利用して介護施設「NPO法人しまんぶくし滋賀材久」
- ②「LOHASの街づくり」「株地球の芽」の2ヶ所を視察。
- ・京都府綾部市
- 限界集落地域、水源の里条例実施地の視察。
- ・大阪府堺市
- 「大阪労災病院」において、入院施設と経営について視察。



近江八幡市(株)地球の芽

病院の視察では、入院における準個室化を実施している大阪労災病院の実態の研修を行いました。病院側の初期投資額0円で行なう事ができ、労災病院では年間6000万円～7000万円の収入につながり、入院患者にも喜ばれているとの事でした。

目標として、経営が苦しい中頑張つておられました。我町にも空き家が沢山あります。和深から田原まで、地域に密着した老人介護施設をもつと行政が真剣に取り組む必要を実感しました。

限界集落地域。65歳以上の老人が50%を超えている綾部市老富町の視察では、水道の基となる上流の水源を守らなければ下流に住む住民にとつても将来的には水の危機に陥ってしまうという考えの上に立ち、市が水源の里条例を設置し、補助金を出して地域の活性化を図っていました。古座川町とよく似た山村でした。

総務常任委員会視察報告

総務常任委員会が所管する事項は多岐にわたります。財政・防災・公共交通・国際交流事業・教育全般・等々があります。2年に一度、各常任委員会が県外視察を実施することが出来ますので、今回は当町にとって喫緊の政策課題である防災対策・行財政改革・公共交通について先進地視察を実施しました。

防災対策につきましては、宮古市では平成19年4月に機構改革を実施しています。組織をフラット化し、縦割り行政の弊害をなくすためにグループ制を導入しました。係制を廃止し、職制も課長補佐・係長をなくし簡素化しています。

制度改革の目的は、意思決定の迅速化と、今後職員数が少なくなる中、忙しい部署に必要な職員を投入するためとしています。職員の意識改革にも取り組みが進んでおり、人的にも財政

地域交通については、路線バスの縮小や便数減により、自家用車を手段に持たない住民の皆様の交通手段に支障をきたし、不便をかけております。おいらせ町の他にも、みなべ町のコミュニティーバス視察も行なっています。行政当局と共に、交通弱者の解消に努めるよう、具体的な施策を練り上げてまいります。



県外行政視察 所要経費

支出項目	金額
宿泊代（5名分）	210,000
交通費	366,506
日当（5名分）	68,000
その他	0
合計	644,506

的にも少ない資源で住民の福祉向上を図るとすれば、「町を經營する」という認識が必要であり、その意識が幹部職員に共有されています。宮古市の行財政改革の成功は、ひとえに市長のリーダーシップによるところが大きいと説明がありました。行財政改革は難しいから出来ないということではなく、しない・したくないという意識の問題であることが理解できました。当町でも、行財政改革を積極的に取り組む必要があります。

紀南広域最終処分場建設問題で意見交換会

紀南環境整備公社が串本町高富を廃棄物最終処分場建設候補地に選び、町議会が反対の意見書を提出していることに対し、議会と公社の意見交換会が行われました。

住民過半数の反対署名を背景に意見書をあげた町議会に対し、あくまでも調査受け入れを求める公社側の意見は平行線のままで、論議はかみあわないままでした。

日時：平成19年10月13日（土）13：30～

場所：串本町立錦富小学校体育館

主催：串本町議会・（財）紀南環境整備公社



前半の90分は錆浦海中公園研究所長や和大システム工学部准教授、国立環境研究所主任研究員など専門家による意見発表を聞きました。出席者の5人は、それぞれの分野の研究者であり専門家の立場で話をもらいました。

後半の120分は串本町議会と紀南環境整備公社理事等による意見交換でした。串本町議会からの意見は事前に①ラムサール条約登録地域串本海中公園等に対する考え方、評価基準に係る考え方について。②その他候補地選定の評価基準に対する意見について。③最終処分場建設に向けての事業の進め方に対する意見について。の項目に大別して内容をまとめ、冒頭に川勝謙員が代表して総括的な意見発表をしました。

これに対し、公社側は真砂理事長が総括的な意見発表を行い、県環境生活部長の楠本理事から補足発言がありました。その後各議員からも突っ込んだ意見発表が行われました。

意見交換会は予定の時間で30分も越える交換会となりました。発言の内容は貴重なラムサール条約の海域と日本最初の海中公園の海域が、予定5候補地に2ヶ所も選ばれたことに対し海域を断固保全していくという方針から候補地の撤回を求める意見が集中しました。

病院対策特別委員会

平成18年第4回定例会において委員会を設置。
委員16名（議長を除く全員）。活動期間は1年間。



1つは、新病院建設マスター・プランの審査です。4回の委員会と2回の小委員会を開催し、和歌山県立医科大学と近畿大学医学部からの医師派遣や新病院の基本設計等について協議を重ねましたが、両病院の経営また新病院建設の問題等が蓄積しており、委員会を更に1年間延長し今後も検討していくことで、19年第4回定例会（12月議会）で議員についての調査です。

3回の委員会を開催し、和歌山県立医科大学と近畿大学医学部から

住宅資金貸付事業特別委員会

平成18年第4回定例会において委員会を設置。委員9名。活動期間は1年間。

○4月27日 人事異動で当局職員の新体制が決まり第1回委員会を開催されました。担当課から旧古座町における同和対策事業等の経緯、また現在の償還状況や滞納額について説明を受けました。協議の結果、滞納者の生活状況等の実態を調査し、次回に提出してもらうことで委員会を終了しました。

○11月26日 第2回委員会を開催。9月12日の担当課と当該地区役員との話合の報告及び出納状況の町全体、旧串本・旧古座町別の説明を受けました。

委員から担当職員の配属強化について意見があり、当局に要望。今後委員と地区役員との懇談会も予定したいので、委員会を更に1年間延長するよう、19年第4回定例会（12月議会）で議員発議し、新たに1年間委員会を開催していくことになりました。

産業建設常任委員会視察報告

視察の目的

- ①歴史的建物を活かした町おこし
- ②最西端を活かした観光
- ③魚のブランド化
- ④下関さかな祭の取り組みについて
- ⑤国際交流について

門司港レトロの町並と本州最西端の観光事業、下関さかな祭、魚のブランド化、国際交流についての視察。



（二）門司港レトロの町並

門司港は明治・大正時代は日本を代表する貿易港であり、九州鉄道の拠点駅でもあった。全国一の港町として栄え、西洋風建築物が立ち並んで活気があったが、関門トンネルや関門橋の開通とともに港町が寂れてしまい、町の再建計画時に国の「ふるさとづくり特別対策事業」に手をあげ、大正ロマンの町並づくりを計画し、官民一体となって一大観光地につくり上げていったところであった。

当町も樺野崎のトルコ記念館付近の建物をトルコ風に統一されれば、新たな観光資源になるのではないかと感じた。

（三）本州最西端を活かした観光行政について

本州最西端尾之間（ビシャノハナ）を見学したが、最南端潮岬と比べて幹線道路からも遠く、あまり観光スポットとしての位置づけがないと感じた。下関市としてはむしろ海峡を活かした観光の方のウエイトが高く感じられた。対岸の門司との共同



（四）下関さかな祭について

さかな祭は商工会議所が主催で行つており、市からの補助金50万円で賄つて、運営もすべて民間で行つており、毎年5～6万人の人手でにぎわうという話を聞いていたが、本当であった。

（五）下関市国際交流事業

下関市は金山、青島市、トルコ共和国イスタンブール市と姉妹友好提携を結んでいる。相互交流の費用については互いに負担し合っているそうだが、外国との話し合いは言いたいことをはつきり言つたほうが良い、それにより友好関係が崩れることはないということであり、当町にとつて参考になつた。



県外行政視察 所要経費

支出項目	金額
宿泊代（5名分）	140,000
交通費	197,146
日当（5名分）	51,000
その他	0
合計	388,146

イベント、両岸から同時に打ち上げの夏の花火大会を行つてゐることで、当町でもできればと感じた。

議会の動き

《本会議》

- ・9月18日～28日 第3回定例会
- ・12月11日～21日 第4回定例会

《委員会》

【議会運営委員会】

- ・9月10日 第3回定例会の運営について
- ・9月18日 //
- ・9月26日 //
- ・10月4日 議長の諮問に関する事項について
- ・10月9日 //
- ・12月4日 第4回定例会の運営について
- ・12月11日 //
- ・12月17日 議長の諮問に関する事項について



【常任委員会】

- ・9月6日 総務常任委員会
- ・9月11日 厚生常任委員会
- ・9月12日 産業建設常任委員会
- ・9月19日 産業建設常任委員会
- ・9月28日 総務常任委員会
- ・12月4日 厚生常任委員会
- ・12月7日 産業建設常任委員会
- ・12月12日 総務常任委員会
- ・12月20日 産業建設常任委員会



【特別委員会】

- ・9月12日 議員定数等に関する調査研究特別委員会
- ・10月23日～30日 決算審査特別委員会 P4
- ・11月26日 住宅資金貸付事業特別委員会
- ・12月7日 病院対策特別委員会
- ・12月20日 病院対策特別委員会

《議員研修》 ※詳細は別ページに掲載

- ・10月19日 総務常任委員会(みなべ町) P12
- ・11月5日～8日 総務常任委員会
(岩手県宮古市、青森県おいらせ町) P12
- ・11月9日 町村議会議長研修会(みなべ町) P11
- ・11月20日～22日 厚生常任委員会
(滋賀県大江八幡市、京都府綾部市、大阪府堺市) P13
- ・11月21日～23日 産業建設常任委員会
(福岡県北九州市、山口県下関市) P14

議長 公務日誌 (主なもの) (H19年9月～12月)

9 月	4日 修学旅行誘致(民泊)報告会(役場本庁舎) 4日 部落解放同盟串本支部総会(串本町和深) 29日 第二あゆみ園竣工式 (串本町潮岬)	11 月	4日 串本町民大運動会 (サン・ナンタンランド) 5日～6日 郡町村議会議長研修(北山村) 16日 国道371号改良促進委員会総会・要望活動(和歌山市)
10 月	1日 和歌山地方税財政協議会講演会(和歌山市) 3日 国土交通省近畿地方整備局へ要望(大阪市) 7日 阪和自動車道開通記念シンポジウム(田辺市) 10日 警察消防連絡協議会総会(串本警察署) 13日 紀南環境整備公社との意見交換会(串本町高富)	12 月	25日 農林水産まつり (串本町内) 29日～30日 全国町村議会議長大会(東京都) 1日～2日 本州最南端G・ゴルフ交歓大会(ナンタンランド他) 3日 新宮広域市町村圏事務組合議会臨時会(新宮市)
	14日 串本分屯基地50周年記念式典(串本町須江) 15日 串本大使推薦協議会 (役場本庁舎) 19日 新宮周辺広域市町村圏事務組合議会(新宮市)		5日 古田浄水場起工式 (串本町古田) 6日 土地開発公社理事会 (役場本庁舎) 27日 道路特定財源等延長を求める決起大会(和歌山市) 28日 広域最終処分場3者(町・議会・商工会)会談(町長室)



寺町 漆畠 角仲 梅野 濱田
忠繁 将範 孝丸 光児 勝裕

編集委員

串本町では議会常任委員会の行政視察は二年に一度と決めており、今年度が実施年だため、今号ではそれの報告が掲載されています。誌面の都合上概要しか載せることはできませんので、詳しく知りたい方は議会事務局までお越し下さい。先進の自治体に学び、それを我が町の行政に反映させて行くことが重要ですが、12月議会では視察で学んだことを早速議会質問で取りあげる議員も多かったです。

編集後記